

沖縄高等特別支援学校寄宿舎における新型コロナウイルス感染症対策

本校寄宿舎では、以下の対策を講じている。

- 1 5月21日始業式・入学式から在舎率を50%以下にして開始。
※近隣市町村在住者（うるま・沖縄・北中城・中城）で学校・家庭間の移動で2時間以内の生徒を抽出して通学対象とした。
居室定員を2名にして在舎開始した。
- 2 生徒の活動に関して、コロナ対策特別日課表として変更点を周知している。
 - ①帰舎時、起床後に検温を行い、体調チェックを行っている。
 - ②日課（入浴・洗濯・アイロンがけ）に関しては密を防ぐため、生徒を3グループに分けて時間差で活動させる。
 - ③夕食は食事当番が配膳した物を放送で呼ばれた生徒から順次受け取り、各居室で食べる。移動の際は異物混入防止のためビニールシートをかける。
 - ④共有物（新聞・雑誌・漫画・遊具等）を使用する際前後に手洗いを義務づける。
 - ⑤自由時間の食堂利用時は、マスク着用を義務づけ、座席を使用する際は、間隔を開けて座り対面にならないように言葉かけを行う（資料①）
 - ⑥夜ミーティングに関しては、密にならないように全体での集まりを持たず、各居室で待機し、放送で諸連絡を行う。舎監は各居室を回り点呼を行う。点呼の際に体調チェックも行う。
 - ⑦学習時間は、各居室で机に向かい個人学習を行う。集団学習を行う際は人数を制限し対面にならないように見守る。
 - ⑧就寝時は、居室中央にシートを張り二つに分け、クーラー稼働時も廊下側窓を開け、扇風機で換気をしている。（資料②）
 - ⑨朝食は食堂利用し、2グループに分けて食事、清掃を時間差で行う。食事の際は対面にならないように同じ方向を向いて食べる。（資料③）
 - ⑩登校前ミーティングは全体で集合せず、放送で身なりチェックや忘れ物がないか呼びかけ、宿直・早朝職員で体調チェックを行い、男女別に登校する。
- 3 生徒登校後、給食後に職員で寄宿舎内を消毒（資料④）
- 4 緊急対応表（資料⑤）